



▲令和元年東日本台風通過後の城山ダム

知ってほしい ダムの放流操作のこと

大雨のときの、河川の氾濫を防ぐ目的を持つダムの放流の仕方を確認し、あなたの避難行動に活かしましょう。



神奈川県には、大雨による河川の氾濫を防ぐ目的を持ったダムが3基あります。

- ・宮ヶ瀬ダム : 相模川支川の中津川に設置された国が管理しているダム。
- ・城山ダム : 相模川に設置された県が管理しているダム。
- ・三保ダム : 酒匂川支川の河内川に設置された県が管理しているダム。

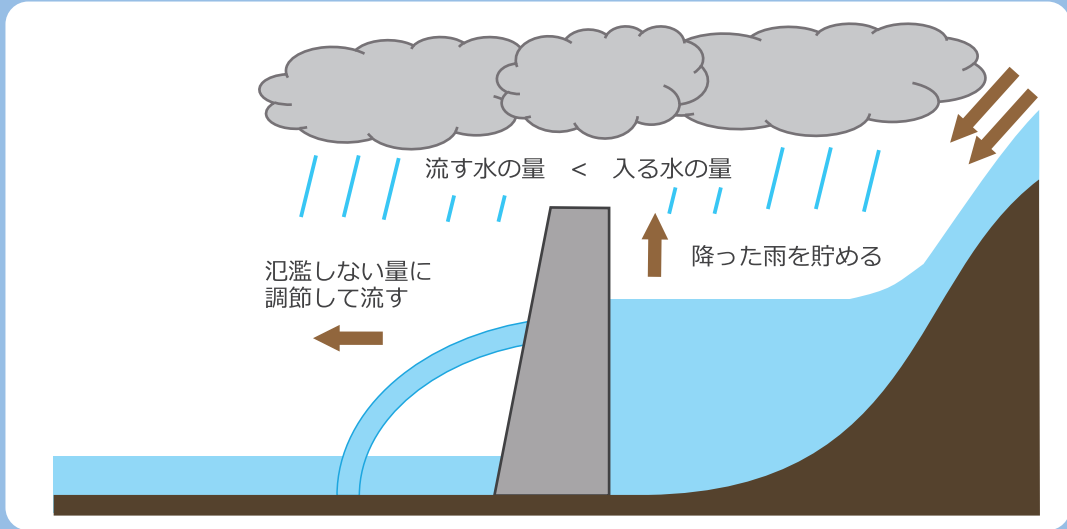
ダムの放流操作



大雨のとき、ダムはどんな放流をするの？



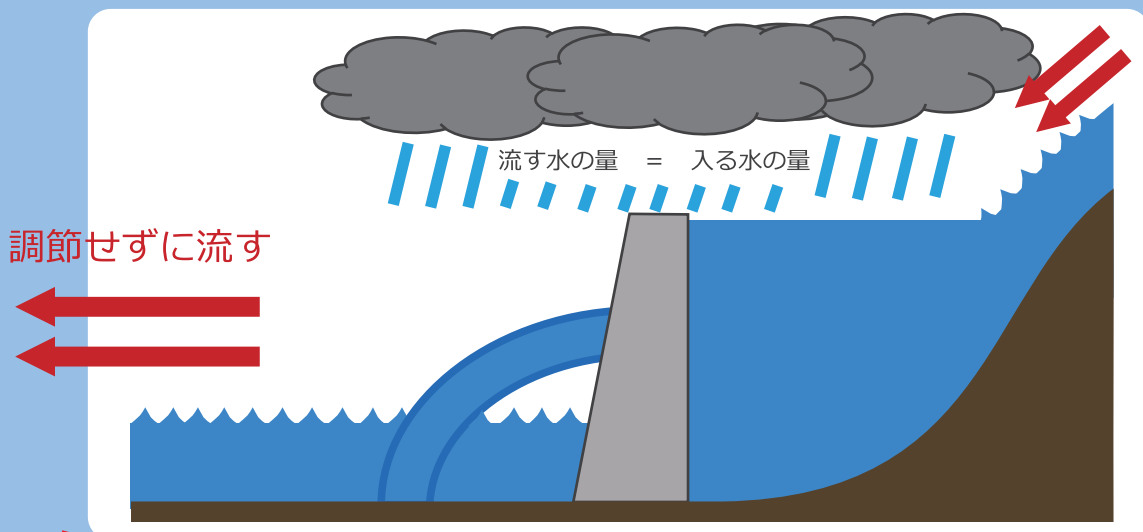
降った雨の一部をダムに貯めながら、
河川が氾濫しない量に調節して放流します。



前に強い台風が来たときに、**緊急放流(異常洪水時防災操作)**をしたと聞いたけれど、それはどんな放流なの？



強い雨が降り続き、ダムに雨を貯めることができなくなった
ときに行う操作で、**入ってくる量と同じ量を放流**します。



このとき、
下流の河川では**氾濫が発生する可能性が極めて高**くなります。



あなたに必要な避難行動

洪水ハザードマップで
ご自宅の場所を確認
しましょう。

確認した

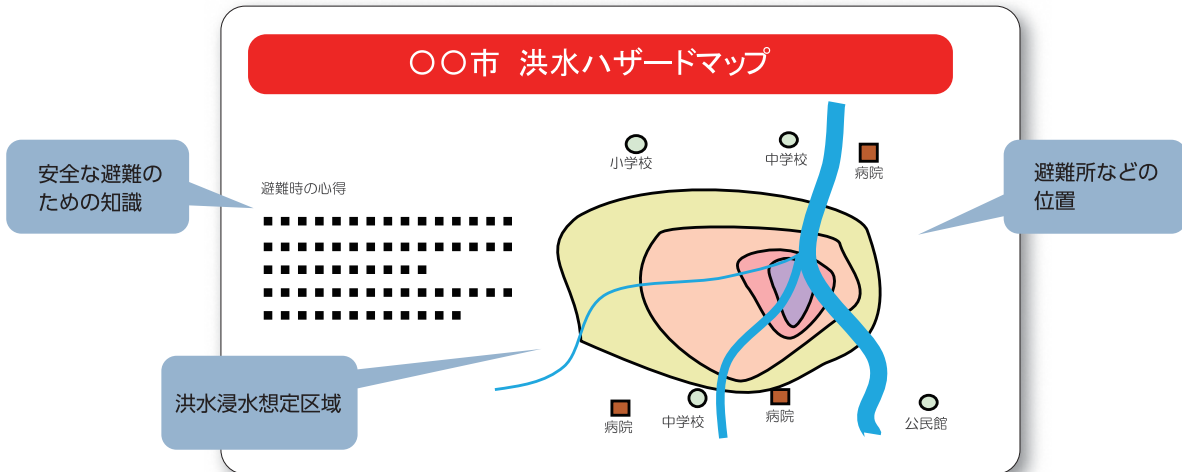
その場所は色が
塗られていますか？

塗られて
いる

浸水するおそれが高い
場所です。いざというときは
安全な場所へ避難
しましょう。



○洪水ハザードマップは河川の氾濫により浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。



○神奈川県ウェブサイトでは、各市町村が作成した
洪水ハザードマップへのリンクがまとめられています。

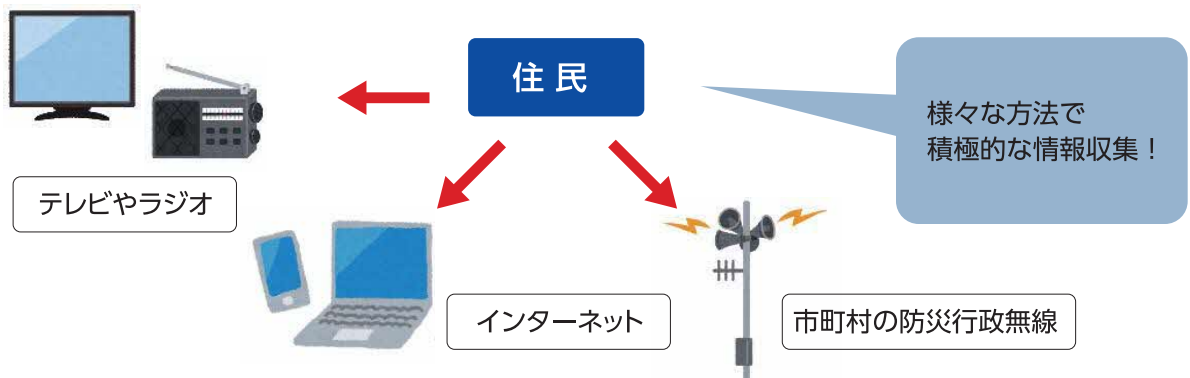
神奈川県 洪水ハザードマップ

検索



いざというとき 防災情報を収集し 避難判断する

○確実にいのちを守るため、テレビ、ラジオ、インターネットや防災行政無線などを使った
積極的な情報収集をして、避難行動の判断をしましょう。



○神奈川県雨量水位情報ウェブサイトでは、河川の水位および
リアルタイム画像などを公開しています。

神奈川県 雨量水位情報

検索



緊急放流と警戒レベル

○緊急放流の情報は、市町村が発令する警戒レベルに相当する情報であり、「とるべき行動」を参考に、行動しましょう。

緊急放流の情報	相当する警戒レベル	とるべき行動
◆開始の情報 ◆1時間前の開始見込み情報 ◆3時間前の開始見込み情報	警戒レベル4 (避難指示)	・危険な場所から全員避難 (立退き避難又は屋内安全確保)
◆3時間より前の開始見込み情報	警戒レベル3 (高齢者等避難)	・危険な場所から避難に時間を要する方は避難(立退き避難又は屋内安全確保) ・その他の方も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミング

ダム放流情報

○神奈川県企業庁のウェブサイト「かながわの水がめ」では、県内のダムの放流情報や貯水位などを公開しています。



神奈川県 ダム放流情報

検索

